

平成29年度 現地検討会実施状況（森林ふれあい・技術の普及等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
木育	フィールド見学・意見交換会	9月21日	常呂川森林ふれあい推進センター	北見市（国有林）	国有林	10名	北見地区の森林管理署等の職員を対象に、森林環境教育やふれあい業務への理解の向上とスキルアップを図るため、現地で実習と意見交換を実施	自然観察の要点の解説とネイチャーゲームの体験また、森林環境教育の取組事例を紹介し、意見交換等を実施した。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	10名			
ネイチャーゲームを体験している様子									
木育	木育・森林環境教育意見交換会	10月18日	オホーツク総合振興局東部森林室 常呂川森林ふれあい推進センター	網走市（国有林）	国有林	3名	オホーツク地域における木育と森林環境教育の連携した取り組みを推進するため、東部森林室（道有林）と常呂川森林ふれあい推進センター（国有林）が現地で意見交換を実施	美岬国有林のフィールドを案内しながら、自然解説の要点や当センターの取り組みの紹介と併せて、意見交換等を実施した。	
					民有林	名			
					自治体	3名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	6名			
自然観察の要点を解説している様子									
自然再生	野幌自然環境モニタリング検討会	10月20日	石狩地域森林ふれあい推進センター	江別市(国有林)	国有林	6名	台風被害を受けた野幌森林公園において、市民と協働の森林づくり等に取り組む「野幌森林再生プロジェクト」を推進するため、被害後の森林の再生状況等を把握するためのモニタリング調査に係る検討を実施	台風被害後の森林の再生状況を把握することを目的に、倒木等による環境の変化に影響されやすい「森林植生」・「歩行性甲虫」・「菌類」の3つの視点で調査を行い、また、植栽木や天然更新木への影響度を把握するため、「野生動物」の調査も行っている。特に今回は野ねずみに係る情報提供もあり、「新たな視点での調査も重要」との意見もあった。今後、森林の再生段階、その他森林の有する生態系の健全性、懸案事項等についてとりまとめを行うこととしている。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	名			
					研究機関	5名			
					その他	2名			
					合計	13名			
現地検討の様子									
自然再生	「オホーツクの森」自然再生モデル事業企画運営協議会	10月26日	「オホーツクの森」自然再生モデル事業企画運営協議会 常呂川ふれあい推進センター	北見市（国有林）	国有林	4名	「オホーツクの森自然再生事業」の全体構想に基づき、地域住民・NPO・ボランティア団体・行政等の協働で、多様性のある森林への再生及び森林環境教育等を推進するため、現地で意見交換を実施	自然再生モデル林に係る、森林づくりの活動状況等を報告するとともに、現地で今後の森林の取扱いについて意見交換等を実施した。	
					民有林	2名			
					自治体	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	4名			
					合計	10名			
自然再生モデルでの現地検討の様子									

平成29年度 現地検討会実施状況（森林ふれあい・技術の普及等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
木育	ふれあいセンター等事業現地検討会	11月7日 ～8日	北海道森林管理局 技術普及課 知床森林生態系保全センター	斜里町（国有林）	国有林	18名	森林ふれあいに関するイベント等へのリピーターを増やして木育を普及・推進するため、各ふれあいセンター等が取り組んでいる事業の情報交換とフィールドの見学を行い知見を広め、課題等の検討を実施	森林ふれあいのスキルアップと自然再生の取組方法（特にエゾシカ対策）の意見交換のため、室内での情報交換と現地見学を実施した。 意見交換では、「ふれあい業務のスキルアップが必要」「スキルアップのために研修があると良い」等の対応策が話された。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	18名			
技術普及	地域活性化研修会	1月19日	オホーツクフォレストーズコミュニケーション（OFC） 網走南部森林管理署 網走中部森林管理署 網走西部森林管理署 網走西部森林管理署西紋別支署	北見市（会議室）	国有林	82名	オホーツク地域の林業を活性化するため、未来の森林づくりへ向けて地域の林業関係者の知識・見聞を広め、参加者と交流を図り、森林・林業の技術に関する意見交換を行うことを目的に実施	講演会・事例報告・座談会の3部構成で実施した。 （株）トビムシ竹本氏、北海道オホーツク総合振興局工藤氏による講演。 北見市役所大木氏、中川町役場高橋氏、（有）宇野林業宇野氏による事例報告を行い、講演者・事例報告者に網走南部森林管理署長を交え座談会をOFC会長遠軽町役場石原氏の進行により実施した。 来場者から「地域振興は手段であって目的ではない、という講師の方の言葉が身に染みた」「全産業に共通する課題であるが、人材育成と技術の継承という難しい課題に真摯に取り組む姿勢が伝わり非常に勉強になった」など多くの感想があった。 今後も地域関係者等と連携する中で、オホーツク地域の森林・林業の活性化に向けて取り組んでいく。	
					民有林	名			
					自治体	51名			
					事業体	47名			
					研究機関	名			
					その他	19名			
					合計	199名			

所長のエゾシカ囲いわな等の説明。

座談会の様子